

おわりに～インターネットとよい付き合いを続けるために

今や、誰もがパソコンやスマホを持ってインターネットにつながることが当たり前になり、民間企業・公的機関問わず、無料・有料含めて、多くの便利なサービスを利用できる時代になっています。

とくにスマホの普及は、多くの人の生活を激変させ、今後もまだまだ新しいサービスが出てきています。便利があふれる一方で、インターネット上で悪いことを考える人たちも増えており、サイバー攻撃による被害は多くなっています。

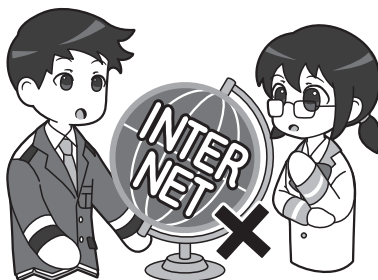
本書で説明した、サイバーセキュリティの考え方や対策は、「当たり前」の集大成です。しかし、世の中で起っているサイバーセキュリティ被害は、ほとんどが「当たり前」の対策を怠ってしまったために発生しています。

「現実社会の一部」といえるほど国民一人ひとりの生活に浸透しているインターネットのサイバー空間では、残念ながら、条件が揃えば誰もがサイバー攻撃による被害を受けてしまう可能性があります。

サイバー攻撃による被害を受けないようにするためには、「当たり前」を忘れずに、国民一人ひとり全員が、自分にとってどんなセキュリティ対策が必要かを理解・実行する必要があります。

せっかくインターネットが普及して、より便利になったこの社会を壊さず発展させていくためには、多くの方々の協力が不可欠です。特定の誰かが黙っていても守ってくれるというのではなく、使う人もやらなきゃいけないことがあります。

サイバー空間は現実世界のオプションではない



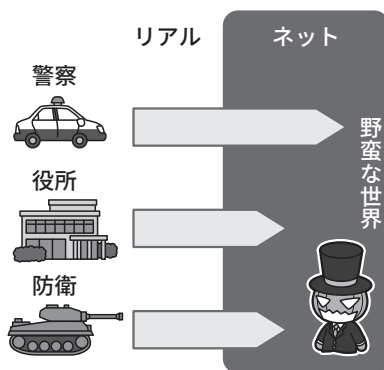
インターネット上のサイバー空間を、現実世界のオプションや便利な道具と捉える人もいますが、実際は現実世界の一部になり、国民生活に浸透しています。

サイバー空間には「危険な世界」も残っている



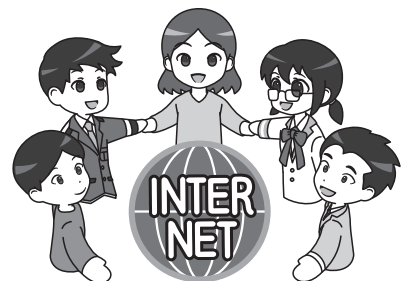
まだまだ未成熟な世界に人が進出して、社会のシステムや秩序の構築が間に合わない状態では、「力こそ正義」となりがちです。ある意味「生きぬく能力がない人には危険な世界」といえます。

現実世界と同じ「社会インフラ」がまだ整っていない



インターネットの世界には、さまざまなインフラは必要です。サイバー警察、電子政府、サイバー防衛、法制度などが次第に整いつつあります。しかし、よりよくしていくためには国民全体の協力が必要です。

全員がセキュリティ意識を醸成すれば安全・安心になる



みんながセキュリティを守ろうという意識を醸成することが、安全・安心なインターネットの利用を支えることにつながります。

本書も、そのようなことを前提に置いて、多くの方にお読みいただくことを想定して作られています。

本書を手がかりに、より多くの方

がインターネットを安全・便利に使うための知識を持つことができることを祈念しております。